



LUNA通信

LUNAメディカルビューティーセンターの
アートメイク・パラメディカルタトゥーが朝日新聞で紹介されました♪

アートメイクって、何？

持続性のある落ちにくいメイクのことで、入れ墨とは異なります。

最新のアメリカ式パーマメントメイクアップ技術を採用しているため、立体的かつ自然な描画により本物の眉と変わらない仕上がり、アートメイクとは気づかれないようなクオリティーの高い技術を提供します。

先天的な皮膚疾患や、後天的に受けた外傷による瘢痕などの再建を、最先端メディカルタトゥーの技術で可能にしたのが、パラメディカル（医療補助）です。



アートメイク私を「再生」

皮膚の上層部に色素を入れ、眉やアイラインを長く「アートメイク」。美容目的のほか、病気のせいで損なわれた部分や元の姿を元に戻したいという女性から「もう一度自分らしくいたい」という声も聞かれています。一方、トラウマの癒えぬ、専門家は「医療補助としての役割」を担っている。

表皮に染料注入

アートメイク

染料をつけた針を皮膚に刺し、眉やアイラインなどを描く際、表皮から0.05mm以内の深さに2〜3回に分けて色素を入れていくのが一般的で、表皮下の真皮に直接着色する入れ墨（刺青）とは異なる。使用する染料は米食品医薬品局（FDA）が認可したもので、鉄分が少ないため通常2〜3年経つと薄くなるが、完全に消すには除去治療が必要となる。



初めと同様に、皮膚表面の神経を刺激する麻酔を施し、約30分〜1時間程度、色素を注入していく。実際の施術は、専用の器具を使い、皮膚に色素を注入していく。麻酔は、目の周囲にはアイラインを引く際は、麻酔は使わない。麻酔は、目の周囲にはアイラインを引く際は、麻酔は使わない。麻酔は、目の周囲にはアイラインを引く際は、麻酔は使わない。

白斑被害者、眉戻り笑顔

横浜市に住む女性の「アートメイク」をきっかけに、白斑被害者として苦しんでいたのが、アートメイクをきっかけに、笑顔を取り戻した。白斑は、皮膚の色素細胞が減少することで起こる。顔や手足などに発生し、見た目や生活に大きな影響を与える。アートメイクは、色素を注入することで、白斑をカバーし、自然な肌色を取り戻すことができる。この技術は、白斑被害者にとって大きな救いとなっている。

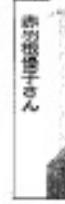


医療補助の面も

アートメイクは、美容目的だけでなく、医療補助としての役割も果たしている。例えば、白斑や瘢痕などの再建に活用されている。また、顔面神経麻痺や顔面筋力低下などの治療にも活用されている。アートメイクは、美容と医療の両面から、多くの人々の生活に貢献している。

絶えぬトラブル注意

アートメイクは、美容目的だけでなく、医療補助としての役割も果たしている。例えば、白斑や瘢痕などの再建に活用されている。また、顔面神経麻痺や顔面筋力低下などの治療にも活用されている。アートメイクは、美容と医療の両面から、多くの人々の生活に貢献している。



絶えぬトラブル注意



日本乳房オンコプラスチック学会でアートメイク・パラメディカルの出展をしました。
LUNAは全米No.1のBio-Touch直営店で、Bio-Touch JAPANの顧問をしています

LUNA唯一の男性医師！

乳腺外科 小関（おぜき）淳先生ってどんな先生??



LUNAでは実姉（LUNA泌尿器科外来医師の前田佳子）の紹介で、2009年11月より乳腺外来を開設し、現在は月曜日の乳腺外来を担当しています。

東京都出身で2004年日本大学医学部卒業後、初期臨床研修医を経て、2006年日本大学乳腺内分泌外科教室に入局、2010年日本大学医学部大学院を卒業し医学博士学位取得。その後、埼玉県北部の本庄総合病院に出張となり、乳腺外来を開設し、外科医長として現在に至ります。

私の祖父は外科医だったのですが、母の話によると、北海道に赴任中の祖父は、手術はもちろん内科的な診察、はたや馬に乗って往診までしていたそうです。何でも出来るのが外科医と

いう印象が私にはあり、そして憧れたので外科医の道を選びました。実際、今の本庄総合病院では一般外科の仕事が多く、何でもやる外科医をしています。

趣味はマラソンです。マラソンは自分のモットーである「人生を全力で走り続ける」と結びつくところがあります。日々の練習が非常に重要で、どれ位努力したかがマラソン大会のタイムに反映します。努力が結果に結びつくところが好きで、仕事やプライベートで上手くいかない時も、走ることで全てをリセットしています。そして、1年の総決算として、12月に行われるホノルルマラソンに参加しています。もともと、医学生の時にHAWAIIのQueen's Medical Centerという病院に留学していたことがあり、本当にHAWAIIが大好きなので、いつか、ホノルルマラソンに参加したいと思っていました。2年前から参加するようになり、今年は3回目のホノルルマラソンを走る予定です。

2013年6月に当院はLUNAメディカルビューティーセンターを開設し、赤羽根優子マネージャーとの出会いがあり、それはパラメディカルタトゥーとの出会いでもありました。乳腺外科医になり10年経ちますが、正直この技術は知りませんでした。特に、女性において乳頭乳輪は重要なものであり、それをこのパラメディカルタトゥーの技術で再建出来、そして完成度の高さに感銘を受けました。赤羽根マネージャーの話では、アメリカにおけるパラメディカルタトゥーはかなり浸透されているのですが、日本においてはまだまだ認知されていないとのこと。現在、自分もこのパラメディカルタトゥーを日本でもより多くの方々に知ってもらえるよう協力しています。

先日開催された【第2回 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会】では『当院におけるパラメディカルタトゥーの実際』という演題で発表をしてきました。今後もLUNAにおける新しい医療技術が、多くの患者さんの笑顔に貢献できるように努力していきたいと思ひます。



美味しい!! 簡単 「カボチャのベルーテ」

材料) カボチャ300g バター25g 水500cc+チキンブイヨン ジャガイモ80g
生クリーム50cc 塩・コショウ 生クリーム(飾り用) 50cc シブレット(パセリでも可) クルトン(食パン1枚 バター少々)

①カボチャ、ジャガイモは2cm角くらいに切っておく。②クルトン用食パンは1cm角くらいに切ってバターで炒め、カリカリにしておく(市販品でOK)

③シブレットはみじん切り(万能ねぎやパセリでもOK 細めの方が良い) ④鍋にバターを溶かし、カボチャを炒め、透明になってきたら水を入れ、少ししたらジャガイモを入れる。⑤沸騰したらチキンブイヨンを入れて30分中火で煮る。⑥生クリームを入れ、ミキサーにかける。⑦鍋に戻し弱火にかけて塩・コショウで味を整える。⑧飾り用の生クリームを泡立てる。⑨スープを皿に注ぎ、生クリームクルトン、シブレットを飾る。

LUNA
婦人科
大林先生が
講演をします

お誘いあわせ
のうえ、奮っ
てのご参加、
お待ちしております！

詳しくは、
院内チラシを
ご覧下さい。

女性のための健康セミナー

**「ゆらぎがちな世代を
イキイキ過ごすために」 (仮題)**

講師：横浜元町女性医療クリニックLUNA 医師 大林美貴先生

日時 2014年12月11日(木)
14時～16時

主催：大塚製薬株式会社

場所 横浜ビジネスセンター
住所：横浜市神奈川区
鶴屋町3-30-8
SYビル6F

「更年期」というと、
なんとなく調子が悪い…
歳のせいかな…
心も体もゆらぎが…
そんな方は非常に多いと思います。

原因は「女性ホルモン」が減少する
から。

セミナーでは、ゆらぎがちな世代を
いかに健康に過ごすか、元気ライフ
を楽しむかを、大林美貴先生に
ご講演いただきます。

大林美貴 先生 略歴
日本産科婦人科学会専門医。
2005年慶応大学医学部卒業。
同年4月より慶応赤十字病院勤務を経て、
2007年から2013年まで湘南鎌倉総合病院
にて勤務。
LUNA-ANNEXでは2009年より外来を開始

●お申し込み方法

参加ご希望の方は、①郵便番号②住所③電話
番号④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥職業の資料
項目をFAXまたはEメール、にて事務局宛に
お送りください。参加票をお送りします。

なお、お申し込みは2014年12月3日(休)ま
で順次受け付けますが、定員に変わりたい確
め切らせていただきますので、あらかじめご
了承ください。

●お申し込み先

■大塚製薬(株)横浜支店 A2事務局
■FAX：045-314-5326
■E-Mail：a2-yokohama2@otsuka.jp
または、院内の申込用紙にて

会場のご案内

※受付は13時30分から行います。
※当日の問い合わせ先：電話番号080-1260-6702担当 長濱
※徒歩：JF横浜駅西口より鶴屋町方面へ5分
ビルのエレベーターで、6F会場へお越し下さい
※周辺に有料のコインパーキングはございますが、
なるべく公共交通機関をご利用下さい。

撃退!!

脂肪冷却お得コース!!

脂肪冷却モニター3回コースが5回通えることになりました!!
通常3回 54,000円が

5回で 54,000円

気になるお腹、
太もも、背中のお肉…。
サイズダウン
してみませんか？

Before



6回After



※効果は個人差があります。

脂肪冷却とは？

切らないでの部分痩身です!!
脂肪は水よりも凝固する温度が高いので、
施術部位を冷却することで、皮膚や血液より
も先に脂肪細胞内の「脂」を凝固させること
ができます。脂肪細胞内の脂が結晶化すると
脂肪細胞が破壊されるので、温度が上がって
も元には戻りません。

そして、破壊された脂肪細胞は、代謝に
よってゆっくりと体外に排出されます。切開
を伴わないので、身体への負担が少なく、施
術部位の痩身効果を得ることができます。

さらに、脂肪細胞の数自体が減少するた
め、食事や運動によるダイエットのようなり
バウンドも起こりにくいとされています。

目次：

新聞掲載 メディカル ビューティーセンター	1
乳腺外科 小関先生ってどんな先生？	2
美味しい！簡単 カボチャのペルーテ	2
婦人科 大林先生の講演情報！	3
脂肪冷却お得コースご紹介	3
今の時期のおすすめ情報！ インフルエンザ	4

今の時期のおすすめ

インフルエンザ予防接種予約受付中！



インフルエンザワクチンの効果は、接種後2週間程度からです。12月中旬までにはワクチン接種を終えましょう

LUNAでもインフルエンザ接種がはじまりました。インフルエンザが流行るのはだいたい12月～3月くらいの間です。乾燥して低温の時期は、ウイルスが長生するからです。毎年インフルエンザに罹ると、A型とかB型とか言われると思います。A型は、H1N1というかつてはソ連型と呼ばれているものが流行っていましたが、新たに2009年に発生した型がソ連型に置き換わって流行っています。他にH3N2という型は、香港型と呼ばれ、1968年から流行っています。この2つがどう流行するかその年によって違います。新型インフルエンザが発生したり、B型があったり。A型とB型は症状も似ていて、予防対策も同じです。（厚生労働省より）インフルエンザになると、38度以上の発熱やせき、咽頭痛、倦怠感や関節の痛みがあります。熱が下がっても、2日間くらいは他の人にうつす可能性があります。症状が重くなりそうなお年寄りや呼吸器の病気、慢性心疾患、糖尿病の方は、予防接種をお勧めします。



脱毛は今の時期がおすすめ！

その① 綺麗に、肌に負担をかけずに脱毛するため、施術は1ヶ月に1回、全部で3～5回されることをオススメしています。来年の夏の美しい肌を目指すためには、今から半年程かけて5回施術を受けるとより効果的です。

その② レーザー脱毛は皮膚が日焼けした状態でおこなうと、火傷を起こす場合があります。なので、夏、真っ盛り！の日差しが強い時期にやるより、今の時期にされる方が肌に良いのです。

メディア掲載情報

11月発売

『DRESS 11月号』 名医に訊く 病気の常識「OとX」過活動膀胱
『家庭画報12月号』 注目の成分“エクオール”で不調をやわらげる
『夢21 12月号』 骨盤臓器脱に関する特集
『おとこの粋時間』 「女性の更年期」を特集
『VOGUE1月号』 「女のコア年齢」

12月発売

『ミセス』 ようこそミセス外来へ 「腹圧性尿失禁」
『夢211月号』 「頻尿・尿もれを防ぐベスト習慣」